

平成22年

# 逗子市教育委員会第2回臨時会

平成22年8月2日

逗子市教育委員会

## 会 議 録

平成22年8月2日逗子市教育委員会第2回臨時会を逗子市役所5階第5会議室に招集した。

### ◎ 出席者

委 員 長	村 松 邦 彦
教 育 委 員	竹 村 史 朗
教 育 委 員	山 西 優 二
教 育 委 員	桑 原 泰 恵
教 育 長	青 池 寛
教 育 部 長	柏 村 淳
教 育 部 次 長 社会教育課長事務取扱	杉 山 光 世
教 育 総 務 課 長	原 田 恒 二
教 育 総 務 課 主 幹 ( 施 設 整 備 担 当 )	永 島 重 昭
学 校 教 育 課 長	奥 村 文 隆
学 校 教 育 課 主 幹	川 名 裕
教 育 研 究 所 長	川 村 信 敏

### 事務局

教育総務課教育総務係長	佐 藤 多佳子
-------------	---------

◎ 開会時刻 午前10時00分

◎ 閉会時刻 午前11時20分

◎ 会議録署名委員決定 竹村委員、桑原委員

## ○村松委員長

それでは、おはようございます。会議に先立ち、傍聴の皆さんにお願いいたします。傍聴に際しては、入口に掲示されております注意事項をお守りくださるようお願いいたします。なお、報道関係者以外の録音、写真撮影につきましては、許可しておりませんので、御了承ください。また、教育委員会の議決により、秘密会にすべき事項と思われる案件が出されたときには、退場いただく場合がありますので、御了承ください。

## ○村松委員長

それでは、定足数に達しておりますので、ただいまから平成22年逗子市教育委員会第2回臨時会を開催いたします。

それでは会議に入ります。本日の会議日程はお手元に配付したとおりでございます。

会議規則により、本日の会議録署名委員は竹村委員、桑原委員にお願いいたします。

これより会議日程に入ります。

## ◎日程第1「議案第13号教科用図書の採択について」

### ○村松委員長

日程第1「議案第13号教科用図書の採択について」を議題といたします。

初めに、事務局より説明をお願いいたします。

### ○奥村学校教育課長

日程第1、議案第13号教科用図書の採択について御説明をいたします。

これは、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条及び第14条並びに同施行令第14条の規定によりまして、平成23年度に逗子市立小・中学校で使用する教科用図書につきまして決定していただくものです。

今回の採択は、皆様御承知のとおり平成23年度の小学校新学習指導要領完全実施に向けて新たな逗子市立小学校の使用教科用図書を採択するものです。この新学習指導要領は、習得、活用、探究といった学習活動を充実させるため、標準授業時数も増加しておりますし、それに伴って教科用図書のページ数もふえ、従来の内容とはかなり変化をしております。本年度につきましては、小学校教科用図書の採択の年でありまして、5月の定例教育委員会において逗子市教科用図書の採択方針を決定していただき、5月26日に逗子市教科用図書採択検討委員会を設置いたしました。その後、6月9日に2市1町合同調査研究委員会が設置され、検定済教科用図書についての調査研究が行われ、その調査研究結果をもとに7月23日の第2

回逗子市教科用図書採択検討委員会において検討、協議を行いました。

本日の採択につきましては、本年度の逗子市教科用図書採択検討委員会での審議結果を受けての御審議をよろしくお願いいたします。

あわせて、平成23年度使用中学校教科用図書につきましては、平成24年度の新学習指導要領完全実施に向けて、平成23年度が採択の年となりますので、本年度まで使用しているものを引き続き採択していくことが妥当であるとの調査報告を受けていることを御報告いたします。

調査研究報告の詳細につきましては、既に学習会等の場で御報告させていただいたとおりでございます。それでは、平成23年度に逗子市立小・中学校で使用いたします教科用図書の採択につきまして、御審議をよろしくお願いいたします。

#### ○村松委員長

はい、ありがとうございます。本件につきまして、何か御質疑、御意見がございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

よろしゅうございますか。それでは、委員の皆さんはそれぞれ神奈川県教育委員会から出されました教科用図書の調査研究会あるいは2市1町合同調査研究会、あるいはいろいろと調査研究をしまして採択の検討委員会、そういったいろんな意見をもとに、また独自で皆さん方は調査研究されて、本日の審議に臨まれていると思います。いろいろ御意見をいただき、各種目ごと1社を採択したいと考えております。なお、皆さんの御意思を確かめるためには、各種目ごとに挙手で採択することに御異議はございませんでしょうか。

(「異議なし」の声多数)

よろしゅうございますか。それでは、異議がないようですので、そのとおり進めさせていただきます。

まず、平成23年度より小学校で使用する教科用図書について審議をいたします。それでは、初めに小学校の教科用図書の種目ごとの採択に入りたいと思います。全部で11教科、11種目ございますので、1つずつまいりたいと思います。採決をしたいと思います。

まず最初に、小学校「国語」についてです。何か御意見はございますでしょうか。はい、どうぞ。

#### ○桑原委員

まず、国語を拝見させていただいた感想からですが、各社非常に工夫されているなという

ような印象を受けました。それぞれが子供たちが理解をしていく順序をかみ砕いて、カード形式にしていたりとか、言葉で添えたりとか、討議したりとかというところでは、素晴らしいなという感想をもちました。その中で比較させていただいて、私がこれをとったものなのですが、あわせて各学校からの調査研究の評価もあわせて考えてみますが、光村図書がこの調査研究の中で高得点を得ていたというところに着目して拝見してみたんですが。やはり発達段階、特徴、1年生から6年生まで、親しみやすい、段階を経た編集されてるなという部分を感じさせていただいて、そういった部分でも評価できるということもありましたし、あと5、6年生が1冊、ほかは上・下巻になっているんですが、1冊の構成になっていまして、いわゆる振り返ったり、そういう高学年ならではの学習に適用できるような配慮がされていたというところも評価できるのではないかと思います。

あとは、読むということも大きなポイントになっていると思うんですが、いわゆる文章だけではなくて、図や表ですとか、文章以外の資料を用いて筆者の意図であるとか考えをまとめるというような教材も十分に取り上げられていたり、そういった意味では社会や理科というほかの教科でも国語力を発揮していくという部分の意識も提示されているなということがありましたので、私は以上のような理由から光村図書が適しているんじゃないかというのをちょっと皆さんに御提案したいと思います。

#### ○村松委員長

今、桑原委員から、光村図書が一番適しているのではないかとということで、御意見いただきました。ありがとうございます。ほかに何か意見ございますでしょうか。はい、どうぞ。

#### ○竹村委員

今、桑原委員がお話をされました光村図書のほかに、東京書籍も私としては評価をいたしました。東京書籍については、新聞記事や投書などの読み比べの教材が取り上げられています。実生活とのかかわりという面で充実しているという点があると思います。読書という点にも力を入れていると思いました。読書紹介ですね、非常に充実しているというふうに感じました。

それともう1社、三省堂についても、読むことについて理科とか科学とか、そういった関連した説明文が掲載されている点、発展的な学習としての読書の教材数が多いという点が非常に評価できる、そういうふう to 考えました。

この2つの2社と最初に出た光村図書を比べた場合に、児童の発達段階に応じた単元・領域のバランスが配置されている点で、私も光村図書が総合的に見て一番よいのではないかな

というふうに感じました。以上です。

#### ○村松委員長

はい、ありがとうございました。今、竹村委員からも光村図書と三省堂、東京書籍、3点比較して光村がいいのではないかという話がありました。ほかにございませんでしょうか。

よろしゅうございますか。それでは、これは先ほど申し上げましたように、挙手でしていきたいというふうに思います。今お2人の意見から出ましたように、光村図書でお諮りしたいと思いますが、小学校「国語」について、光村図書を採択するということでよろしゅうございますでしょうか。挙手でお願いいたします。

( 挙 手 全 員 )

はい、ありがとうございました。それでは、全員一致で光村図書の「国語」に決定をいたしました。

それでは、次に小学校「書写」に移ります。何か御意見はございますでしょうか。はい、どうぞ。

#### ○桑原委員

国語とあわせて書写という教材を指導していくことで、引き続き意見を言わせていただきます。本当にどの教科書も同じようにいろいろ工夫されて、書写に楽しめるような毛筆ですとか硬筆ですとか、すばらしいなと思ったんですが、子供たちが入りやすいような配慮ということでは、同じくやっぱりキャラクターの吹き出しや何かがあって、光村図書が親しみやすいんじゃないかなというふうにちょっと自分の中で整理されてきたので、そこら辺をお伝えしたいと思っています。

あと、そういった親しみやすさですとか、筆使いのわかりやすさ、書写を使って学校生活や日常にそれを生かしていくというような展開も評価できるんじゃないかなと思ってます。6年生の展開を実際にやってみようとか、そのような日常に反映できるという部分、あと親しみやすさというところでは、小学校の書写としては、私としては光村図書がよいのではないかと。あともう一つは、国語との関連ということでも、同じ出版社を使うことによって、指導のしやすさですとか、子供たちにもそういった利便性があるのではないかとということも考えまして、皆さんに同じく光村図書でお考えいただければということをお提案させていただきたいと思っています。

#### ○村松委員長

はい、ありがとうございました。今、書写も国語と同じ出版社で採択したほうがいいんで

はないかという意見がございました。ありがとうございます。何かほかに御意見ございますでしょうか。

#### ○竹村委員

私は、学校図書が一番いいと思いました。理由は2点ございます。まず1点目は、この学校図書の毛筆のお手本に当たる部分が半紙と原寸大で提示されています。文字の大きさですとか配置の点から見て、児童が視覚的にそれを手本をとらえやすいという点で、まずほかの会社にはない、いい点だということを感じました。

もう1点目は、裏表紙のところに保護者に向けてのメッセージというのがありまして、特に小学校の1、2年生のときとかは、鉛筆の持ち方とか書くときの姿勢だとかということが、家庭の中においても繰り返し学習していくのが非常に有効だというふうに考えます。そういった意味で、保護者に向けてのメッセージが書いてあるという点で、この2点がすぐれていると考え、学校図書がいいと私は考えました。以上です。

#### ○村松委員長

はい、ありがとうございます。今、竹村委員のほうから、「鉛筆博士」「筆博士」と、児童が興味を持って取り組めるように工夫されているということと、裏表紙に保護者向けに学習内容や身につく力がここで示されている。そういったことを含めて、学校図書がいいのではないかという意見が出されました。今、光村と学校図書というのが出てまいりました。そのほか何かございますでしょうか。

#### ○山西委員

今、話が出ています光村図書と学校図書という本以外の中で、各学校からの調査研究の評価が高かったものに、日本文教出版と東京書籍があると思います。あえて2社の特徴を挙げてみますと、日本文教出版では、子供みずからが学習の見通しを立てたり、自己評価を通して自分の学びを振り返るといふか、そういったものが工夫されているという特徴があるように感じました。また東京書籍では、書くことに関して、調べたことを記録する教材だとか新聞記事を書いていこう、棒グラフの書き方が取り上げられたりもしています。そして東京書籍では、若干なんですけど、他社にはなく、B5判よりも横に少し5ミリ程度広い形を用いていますので、文字の配置をわかりやすい工夫がなされているということは指摘できるかなと思っています。

そういう面で見ますと、やはりなかなか難しいなという気はするんですが、私としてはその4社の中であえてもう一度とらえ直したときにも、光村か学校図書かなというのが正直な

印象ということです。

○村松委員長

はい、ありがとうございました。今、日本文教出版と東京書籍の話が出てまいりましたが、それ以外に何か御意見ございますでしょうか。はい、どうぞ。

○青池教育長

私も、総合的に見まして、正直なところ光村図書か学校図書の2社で迷いました。しかし、先ほど委員さんが言いましたように国語の教科との関連というのは、やはり子供たちにとっても大切であるし、そういうふうないろいろなことを考えたときに、やはり光村図書を採択するのが一番よいのではないかなという感じ、個人的には思いました。しかし、意見がいくつかに分かれておりますので、それぞれについて採決されて決定していく方法がいいかなと思っております。

○村松委員長

はい、ありがとうございました。それでは、ただいま教育長より御意見がありますように、書写については光村図書及び学校図書、それぞれについて採決したいと思います。まず、光村図書を採択するのがよいとお考えの方は挙手をお願いいたします。

( 挙 手 多 数 )

はい。じゃあ学校図書を採択するのがよいとお考えの方は挙手をお願いいたします。

( 挙 手 少 数 )

それでは、3対1ということで、「書写」につきましては光村図書を採択するということで決定いたします。はい、ありがとうございます。

それでは、社会に移ります。次に、小学校「社会」、何か御意見はございますでしょうか。はい、どうぞ。

○山西委員

改めて社会の教科書全体を通して読ませていただいて、今の社会の教科書っておもしろいなど改めていろんな学びが、これが小学校段階だけではなくて、中学校、さらにはというところで、非常に発展していく学びが可能な教科書編集になっておりますというところが、改めて感じましたし、新学習指導要領にのった編集がすべての教科書においてなされているというところで、改めて楽しく教科書を読ませていただきました。

そんな中で、ちょっと結論的に言いますと、私自身もそうですし、各学校の調査研究の評価を改めて参考にさせていただくと、先ほどの若干国語とも重なりますが、私は光村図書が



一番よいように改めて感じています。その理由として、ちょっと4点ほど挙げたいと思うんですが、一番最初の単元の導入の部分が非常に光村は丁寧なんですね。非常に調べ学習などを通して子供たちがその単元での学びを積極的にかかわっていくというこの配慮が非常にうまくなされているというところを感じました。それとも重なりますが、各学習項目に入ったときにも、まず問の形で学習のねらいが示されていますし、そして必ず右ページの下部分が「次の学び」というところで、学習の流れが非常に読み取りやすいように記載されていますので、子供が見通しを持って学べることを可能にする、そういったことの配慮ができるように感じました。

それから3番目ですが、広げる、深める、もしくは学びの広場というものが設けられることによって、子供たちのニーズに応じた、発展的な学習の内容の取り扱いが可能になっているという印象を持ちました。

そして4点目ですが、5、6年の教科書、これも先ほど国語と同様なんですが、上・下の分冊ではなくて1冊にしたことによって、子供さらには教師も1年間の見通しを持って、時には前に行ったり後ろに戻ったりというような、そういった学習ができるということも一つの魅力かなと改めて感じました。そんな印象を持ちました。以上です。

#### ○村松委員長

はい、ありがとうございます。今、4点いろいろと光村図書について意見というのか、中身について山西委員から話しいただきました。何かほかにございますでしょうか。

#### ○桑原委員

光村の評価を伺って賛同するところが多いんですが、確かに光村の評価、高かったんですが、いわゆる先ほどの各学校からの調査というところでは、ほかに上位3社というところでは、東京書籍と教育出版というところもあって、その比較をした、私の調査を御報告させていただきます。

東京書籍なんですけども、単元をめあてですとか、あと小単元、学習問題とか、そういったことをうまく紙面を提示して、学習しやすくなっているな。そういうふうに区切ることによって、学校の先生と子供たちとかが一緒に取り組めるような社会をともに考えていけるような、そういったところが非常に工夫されているんじゃないかなというような印象を受けました。ただ学ぶというよりも、かかわりができるんじゃないかなと思うんですね。

あともう一つの教育出版なんですが、何か実践的というか、作業をしたり体験するという部分をうまく取り入れているなという、そういう教科書を超えてといいますかね、そういう

仕掛けがうまくされてるなど。学びの手引きですとか伝え合う、そういうキーワード的なものもうまく使っているんじゃないかなというふうにも感じて、そういったところを評価されたのかなというふうに私も見させていただきました。

今、山西委員から報告があった光村図書についてですね、確かに非常に研究されてわかりやすく思ったところと、あとは話し合い、生徒同士が学級の中で話し合っってその問題に取り組んでいるという具体例があって、そういった意味では、ともに学んでいくというものをイメージしやすく編集されているんじゃないかなというところも、ちょっと先ほどに加えると私も思いまして、そういう3社として比べて、最終的にはやはり学校の先生方の調査研究での評価が一番高かった光村がそういった意味では一番逗子市に適しているんじゃないかなということでは、山西委員と同じ意見を持っているということです。

#### ○村松委員長

はい、ありがとうございます。今、山西委員、桑原委員からいろいろと比較した中で最終的に光村図書がいいのではないかという話ですが、それ以外に意見ございますか。はい、どうぞ。

#### ○青池教育長

今お2人の意見に加えて、光村では神奈川県だとか三浦市だとかの農業・水産、そして葉山の点など児童にとって身近な事例を挙げていて、逗子の子供たちにとっては自分の住んでいる地域を意識させるという意味では大変親しみを感じてくるのかなということを感じました。また、表紙の丁寧さとか、明るいイラストを用いて、1冊の本のように感じさせ、社会科に対する親しみを持たせる仕組みが他社より多く出ているのかなという感じがしましたし、そういう点いろいろ考えたところでは、私も光村図書ということをお勧めしたいなと、そう思っております。

#### ○村松委員長

はい、ありがとうございます。今、教育長からも光村という話が出てまいりました。関係については光村よりは教育と東京書籍が若干幅広の意見があったということをお聞きします。これはそれぞれビジュアルな紙面を構成しようということで、いろいろ工夫されておるとお思いますけれど。

それで今、3名の方から光村図書ということをお話をいただきました。それでは、小学校「社会」について、光村図書を採択するということによろしくうございますでしょうか。挙手をお願いいたします。

( 挙 手 全 員 )

はい、ありがとうございます。それでは、全員一致で社会は光村図書に決定いたしました。国語の教科書、それから書写、社会と、すべて光村になっております。いずれにしても、各教科書、かなり力入れて新しい学習指導要領にかかわる、それほど大きな差はないというふうに思うんですけど、最終的には社会は光村図書ということで決定いたしました。

それでは「地図」に移ります。何か御意見はございますでしょうか。はい、どうぞ。

○山西委員

地図の場合、選択肢はこの帝国書院と東京書籍という2社になるわけですが、各学校からの調査研究結果では、この帝国書院の評価が非常に高かったというのが明確になっております。恐らく現場において、長年この帝国書院の地図を使用しているということが現場の先生方も使い勝手がいいということがその理由として指摘できるのだらうとは考えています。また、それぞれの地図の約束事や使い方、また見方の基本がわかるページを巻頭に配置したりしていますし、この特に帝国書院が見開きのページを結構いくつか活用しているんですが、例えば宇宙から眺めた日本列島というような形で、こういったものを設定したり、後半の部分でも比較的こういう見通しを、これなんかも世界でも自然環境と地球温暖化というような形のものを、やはりこういう見開きで入れたりしている。そういったところにも若干工夫が入っているというところで、丁寧な扱いになっているかなという気がしています。そういった点から、私は帝国書院のほうがいいかなと考えています。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。今、山西委員から帝国書院のほうがいいのではないかとこの意見ございましたが、ほかにはございませんでしょうか。

○竹村委員

私も補足的な自分なりの意見を述べさせていただきます。もう1社の東京書籍についても、写真やイラスト、鳥瞰図のようなビジュアル的な資料を十分に活用できるような構成になっていると私は判断できました。その点については、非常に素晴らしいと思いましたが、帝国書院についての評価の中で、とても大切だなと感じたことが1点ありました。それは、観点の中の評価が非常にバランスがいいということです。地図については、さまざまな学習の項目について調べることが多いわけですから、このバランスというのはとても大切だというふうに感じましたので、そういった点ですね、バランスよく評価されているという点について、帝国書院のほうで私はふさわしいと判断できたわけですが。

### ○村松委員長

はい、ありがとうございます。ほかに御意見ございますでしょうか。今お2人から帝国書院という話が出ましたけれど、よろしゅうございますか。それでは、地図につきましては帝国書院でお諮りいたしたいと思います。小学校「地図」について、帝国書院を採択することによろしゅうございますでしょうか。挙手をお願いいたします。

( 挙 手 全 員 )

はい、ありがとうございます。それでは、全員一致で「地図」は帝国書院に決定いたしました。

次に、小学校「算数」に移ります。何か御意見ございますでしょうか。はい、どうぞ。

### ○青池教育長

算数につきましては、現在使用されている教科書が東京書籍ということでございます。各学校からの調査研究の評価が、やはりこれも東京書籍が多かったということも一つの理由にあります。また、内容的に見ますと、反復学習や家庭学習等々が弾力的に扱われていて、丁寧な編集をしている点や、分数の掛け算、それから割り算等がわかりやすく充実しているなというのを感じました。そういう意味では、私は今使っているということも含めまして、東京書籍というものを採択するのがいいのではないかなというふうに思っております。

### ○村松委員長

はい、ありがとうございます。ほかに何か御意見ございますでしょうか。はい、どうぞ。

### ○桑原委員

東京書籍が調査研究の結果高く、私も評価しているんですが、やはりほかにもいくつかありますが、私なりの見解を御報告させていただきます。学校図書の教科書があったんですが、いくつか例えば分数だったり割り算、そういうところ、ポイントで比較させていただいたんですが、比較的基礎的なものを丁寧に、基本的な事柄を絞って説明しているなというところは特徴的だというふうに比較して感じました。算数的なことが苦手な児童にも配慮された感じになっているな。あと、算数アドベンチャーって、何かその算数を使った何かゲーム的なものも取り入れて、いわゆる理数の入り口になると思うんですが、算数をうまく取り入れられるような工夫がされてるなというふうに感じました。あと、中学校のつないでいくということでは、中学校への架け橋というような別冊を設けたりしているところも、そういう発達を意識されているなというふうに感じました。

あと、もう1社の教育出版では、単元が学習を振り返ろうとか、ステップアップとか、そ

ういう学んだことをさらに深めたり、あとは前に学んだことを振り返ったり、そういう編集されているので、系統的に学んでいく教科なので、そこら辺は配慮されてるなと思いましたし、算数で読み取っている、算数的な発想の解説というか、そういうページもあったので、こういう脳の使い方というんですかね、そういうところも工夫されているなというふうに思いました。

そこと東京書籍とを比べてみて、私としては学校の評価も高かったりというところと、あとは全体のバランスのよさといいますかね、そういう基礎的な内容を習熟を図ることですか、そういったものをあわせると、やはり東京書籍が一番いいかなというところには落ち着きました。以上です。

#### ○村松委員長

ありがとうございました。いずれにしましても、今、学校図書、教育出版、東京書籍と出てきております。東京書籍の特徴としては、1・2年、3年、4年というのが前回採用した教科書から比べると、かなりページ数が充実してきていると。教育出版は、逆に4年、5年、6年といったところがかなり充実してきて、ページ数もふえてきている。学校図書については、バランスよく1年から6年までページ数がふえている。いずれにしましても、算数の場合かなり前回採用の教科書から比べると充実してきているということが言えるだろうというふうに思っております。これは特に難しくなったというよりも、かなり單元ごとに丁寧に説明をしているということで。ただ、これは今までの学習指導だけではなかなか学校の先生方も教えていくということについては、全部フォローするというのは結構大変だろうというふうに思っております。そういった意味では、しっかりと宿題を課して、家庭学習というものもかなりしっかり課していかないと、なかなか消化不良になるというような懸念もあります。そういった意味で、どの教科書を使ったとしても、そこをしっかりと先生方が指導していくという必要はあるだろうというふうに思っております。

今、学校図書、教育出版、東京書籍、3つ出てまいりましたが、全体的に言いますと、算数については東京書籍という意見が多いというふうに思います。それでは、小学校「算数」について東京書籍を採択するということよろしゅうございますでしょうか。挙手をお願いいたします。

( 挙 手 全 員 )

はい、ありがとうございました。全員一致で「算数」は東京書籍に決定いたします。

それでは「理科」に入ります。何か理科について御意見ございますでしょうか。はい、ど

うぞ。

### ○青池教育長

理科につきましては、各学校からの調査結果において、すべての観点で、評価が一番高かった教科書が大日本図書ということでございます。大日本図書は、自然体験や身近な素材、それから材料を活用した実験・観察を取り入れ、実感を伴った理解ができるように工夫されている。また、大判で見やすく、実験の内容などが視覚的にわかりやすく編集されている面。また、4年生、5年生、6年生が分冊になっていることについては、いろいろ意見が分かれるところだと思うんですが、私個人的には軽量化しているよさ、それから4年生は季節の編集で、季節ごとの編集になっているわけですが、5年生、6年生は2つの大きく分野、物質・エネルギーと生命・地球という構成になっているわけですが、基礎・基本の積み上げの教科と違って、前半の教科書を後半に持ってきて復習するということは、分野的になっていますので、弱いのではないかなと。逆に、分冊になっているよさが、出ているような、そんな感じがしております。そういう意味では、学校からの評価が高いということも含めて、大日本図書という形で評価したいなと思っております。

### ○村松委員長

はい、ありがとうございます。ほかに何か御意見ございますでしょうか。

### ○山西委員

今回5冊というものが出されている中で、比較的学校の評価が高かった4社に関して、若干特徴を述べさせていただければ、今、話が出ていました大日本図書、これはもうまさしく学習指導要領からしますと、みずから学んで学習に取り組む意欲を高めるという点に関しては、特に自由研究において自主的な研究の進め方が取り上げられているということが指摘できるかなと思えました。そして、教育出版の特徴としてですが、確かめやまとめにおいて子供たちが書き込めるように、ワークシート形式になっていることが挙げられると思います。そして、東京書籍の特徴としては、巻頭のページに理科学習全般の学び方が書かれていることで、学習のイメージをつかみやすく構成ができているということが指摘できるかなと思えます。そして学校図書の特徴としては、初めのページに教科書全般の解説があって、また巻末には年度の概要が書かれているため、子供たちが4年間の系統性を意識しながら見通しを持って学べるということが可能になるように配慮されているかなという気がします。そうやって比較してみますと、やはり4社とも非常によく仕上がっていますが、先ほど教育長の御指摘にもあったように、やはり私も大日本図書が非常に総合的にバランスよく構成されてい

るかなと考えております。以上です。

#### ○村松委員長

はい、ありがとうございました。いずれにしても検討委員会あるいは教育委員会でかなりそれぞれ国語、書写、社会、地図、算数、理科についても絞り込んでいきまして、その絞り込んだ結果を今、それぞれ1冊1冊話をさせていただいておりますけれど、今、東京書籍、大日本、それから学校図書については大判、教育出版についてはB5と、先ほど大判というのはA判のことでありますが。という形で、やはりビジュアルな展開ということでいきますと、A判のほうが支持は高い。その中で特に大日本の場合は分冊ということになっております。しかも分冊の中でそれぞれ分野ごとに前半・後半というように分野ごとに分かれておりまして、それが逆に言うと学びを子供たちにかなり深めていくには分冊のほうがいいのではないかというような意見も出ておりました。そういった意味では、今、大日本図書ということで、皆さんの意見が出てきております。

それでは、理科につきましては、大日本図書でお諮りしたいと思います。小学校「理科」について、大日本図書を採択するというところでよろしゅうございますか。挙手をお願いいたします。

( 挙 手 全 員 )

はい、ありがとうございました。それでは、全員一致で理科は大日本図書に決定いたしました。

次に、小学校「生活」に移ります。何か御意見はございますでしょうか。はい、どうぞ。

#### ○山西委員

生活に関しては、全体で7社というところの選択肢があるわけですが、私としましては以下の4つほどの理由から、この教育出版がいいのではないかなと考えています。

まず1点目ですが、現在も逗子ではこの教育出版を使用していますし、また学校の先生方の評価がこの教育出版に対して一番高く評価をされているということが1点目です。

2点目ですが、子供たちが特に生活の中で触れたこと、感じたことを書き込み式で記録ノートをつくるように構成されていますので、科学的な見方や考え方を書くことを通して改めて整理していくようなプロセスが全体的にされているなというところを印象として持っています。

そして3点目ですが、左のページに学習項目ごとにねらいが記載されていまして、学習のポイントが明確にされているということが指摘されました。

そして4点目ですが、特に低学年ということもあって、写真とイラストと絵のバランスが私自身は教育出版が一番いいという印象を持ちました。以上のような4つの理由から、教育出版がいいのではないかと考えております。

○村松委員長

今、4点ほど、教育出版の特徴ということでお話しいただきました。ほかに何か御意見ございますでしょうか。はい、どうぞ。

○竹村委員

私は教育出版もそうなんですが、東京書籍も評価できる点が多いと考えます。ほかの教科との関連が示された内容という部分については、充実しているというふうに思いますし、栽培とか飼育、継続して行う学習単位では活用のヒントになる資料が多く示されているのではないかと、そういうふうに考えています。また製本については、東京書籍のほうがワイド版、大きく取り上げていますね。ダイナミックなつくりになっていて、興味・関心が非常にひかれるところがあるんじゃないかなと考えます。紙質がちょっとやわらかい紙質のような感じなんです。それで軽くできています。これ、低学年にとって使い勝手はどうなんだろうかと、この疑問も同時にちょっと懸念されるころではあります。教育出版と東京書籍、2社ともによく編集されていると思いますが、内容の程度が児童の発達段階に適切な内容になっているという点で、私も教育出版のほうがよいのではないかなというふうに考えます。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。お二方、東京書籍、教育出版、両方話が出ましたが、教育出版のほうがよいのではないかという意見が出されました。何かほかに御意見ございますでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、生活につきましては教育出版でお諮りしたいと思います。小学校「生活」について、教育出版を採択するというところでよろしゅうございますでしょうか。挙手をお願いいたします。

( 挙 手 全 員 )

はい、ありがとうございます。それでは、全員一致で「生活」は教育出版に決定いたしました。

次に、小学校「音楽」に移ります。何か御意見ございますでしょうか。はい、どうぞ。

○竹村委員

私は、各学校からの調査研究等が一番高かったという点、文書、図版などの割り付けが適



切で、体裁がよく児童が使いやすいように配慮されているという点で、教育芸術社が、3年生以上の最後のページに、ステップアップというところがあって、さまざまな職業の人と音楽のつながりを図った言葉が掲載されています。これは他社にはない内容で、音楽の持つ違った部分、魅力を違った視点から表現しているという点で、非常によいというふうに思いました。以上の点で、私は教育芸術社がよいのではないかというふうに考えます。

#### ○村松委員長

はい、ありがとうございます。教育芸術社は非常に使いやすいように配慮されているということで、教育芸術社というのが出てまいりました。ほかにございませんでしょうか。はい、どうぞ。

#### ○桑原委員

私はですね、ちょっと以下に挙げる、3つほどの理由から、教育出版がというふうに考えたんですが。もちろん教育芸術社と甲乙つけがたい中で、私は教育出版がと思った点なんですが、1点目としてはですね、いわゆる鑑賞用の曲数がですね、最も多いということですね。また、日本の音楽、郷土の音楽という部分でも、数が一番多かった。昨今の社会事情というのは、幼いころから割と偏ったというか、そういった音楽に親しむケースがふえている。という意味では、学校に入って自分の趣向や家庭の趣向を超えたさまざまな音楽体験ができるということは重要じゃないかなというふうにちょっと考えまして、そういう鑑賞の数の多さというか、種類の多さ、日本の曲というところでは、非常に評価できるんじゃないかなというふうに考えました。

あと、2点目なんですけれども、神奈川の教育ビジョンにもある社会とか科学とか、これは今、非常に問われていると思うんですけれども、そういった意味では演奏者とか歌舞伎役者とか、そういった著名な人が紹介されて、あとそういった演奏者からメッセージがあったりというところでは、音楽がただ音楽じゃないという、そういう音楽を通して社会にかかわるということも、子供たちにはいい影響を及ぼすんじゃないかなというふうに考えました。

あと、最後になるんですが、3点目としては、ポートフォリオによって児童が自分の音楽体験をまとめたり、振り返ったりできるというところでは、定着というんですかね、そういった部分も配慮されているんじゃないかなというふうにちょっと感じましたので、教育出版でいけたらというふうに意見を持ちました。

#### ○村松委員長

はい、ありがとうございます。今、竹村委員と桑原委員、意見がちょっと分かれておりま

す。教育出版と教育芸術社ということで意見が分かれております。ちなみに、2市1町の調査では、ほぼ拮抗しております。ただ、逗子ではどちらかといいますと教育芸術社がいいのではないかなという意見も出されております。現在は教育出版の教材を使っているということになります。意見がいろいろ分かれておりますが、さらにもう少し突っ込んで何かございますでしょうか。

#### ○山西委員

私もこの教育出版と教育芸術社をそれぞれいいなと、改めて両方考えているところがありますが、やはりどちらかというとは私は教育出版のほうがおもしろいかなと改めて感じました。それは今、桑原委員がおっしゃったように、ひとつ曲また郷土の音楽を含めて、いろんなジャンルの曲、鑑賞用の曲が入っているということもひとつ魅力ですし、やはり教科書の巻頭に演奏家からのメッセージが入ることによって、何か曲に非常に人間的な温かみといいますか、何かそういったものをちょっとイメージさせてくれるということの工夫も非常に魅力的かなと感じました。また、ソフトの学習という部分と学習の広がり、活用という部分の2つに題材が分けられていて、それぞれのねらいが示されている点も、教育出版のすぐれたところではないかなと思いました。以上です。

#### ○村松委員長

はい、ありがとうございました。今、山西委員からは、両方ともなかなか甲乙つけがたいが、どちらかと言えば教育出版のほうがいいのではないかなという意見も出されました。ありがとうございます。そのほか何かございますでしょうか。

よろしゅうございますか。それでは、今、意見が分かれたから、教育芸術社と教育出版でお諮りをしたいと思います。まず、教育芸術社を採択するのがよいとお考えの方、挙手をお願いいたします。

( 挙 手 少 数 )

はい、ありがとうございました。お1人。

続いて、教育出版を採択するのがよいとお考えの方、挙手をお願いいたします。

( 挙 手 多 数 )

はい、それでは1対3ということで、教育出版を音楽につきましては採択するというところで決定いたします。ありがとうございます。

次に、小学校「図画工作」に移ります。何か御意見ございますでしょうか。はい、どうぞ。

### ○桑原委員

3社あって、本当にどれも自宅に置きたいような、すばらしい教材だなというふうに感じました。本当にビジュアル的に工夫もされていて、芸術性も高いなというところでした。その中でちょっと私がやはりこのと思ったのは、東京書籍ですね。理由なんですけども、まず、ほかの2社は分冊になっているところが、東京書籍は1・2年、3・4年、5・6年という3冊になっていますので、そういった意味では教材を学校の先生方や子供たちに合わせて自由に使えたりという使いやすさ、あと子供たちもそれを1冊の中でいろいろな刺激を受けられるかなというところは評価されるんじゃないかなというふうに感じました。

あともう一つ、写真の使い方が非常に鮮明で大判だったりして、とてもインスピレーションを感じやすいというか、何かそういうものがいわゆる子供たちのそういうひらめきだとか、心に通ずるというものでは、そういったことは非常に重要なんじゃないかなというところでは、そこも評価させていただきました。

あとは、そういうひらめきというか刺激と相反して、整理して進めていくというところでは、芸術的な配慮をしながらも、工夫もされているので、そういったバランスもいいなというふうに思いましたので、東京書籍をと考えております。以上です。

### ○村松委員長

はい、ありがとうございます。今、桑原委員からは東京書籍が、3つともなかなか、これも甲乙つけがたいということですけど、今、説明ありましたように、東京書籍がいいのではないかという意見が出ております。ほかに何かございますでしょうか。はい、どうぞ。

### ○竹村委員

私も東京書籍はよく構成されていて、見ていて楽しいなというふうに思いました。私はもう一つ、日本文教出版も非常にすばらしい教科書であると思います。理由としては、まず、他社に比べるとサイズがやや大きいですね。その大きいということが、紹介されている作品がゆったりここ配列されている感じがします。鑑賞という観点からも、見る者にとってはとてもサイズが大きいということは有効ではないかなというふうに考えました。また、つくりとしても表紙は非常にしっかりしてできていると思います。見開きのページに工夫すること、気をつけること、片づけの仕方、振り返り、そういった活動の流れが書かれていて子供たちが自分で活動できるように工夫されているのではないかなというふうに思いました。

また、巻末に示されている用具等の使用法が非常に具体的で、安全面への配慮がよりなされているのではないかなというふうに考えます。その点は非常に評価できると思います。

もう一つ、造形図鑑のところには余分な文字がなくて、子供たちが創造してみずから言葉にしていくという活動ができるように工夫されているというふうに感じました。

私は以上の理由から、日本文教出版を採択するほうがよいのではないかと思います。

#### ○村松委員長

はい、ありがとうございます。今、東京書籍と日本文教出版、サイズ的に言いますと、かなり横は210、それで縦が277、20ミリほど縦が高いということで、見やすいんじゃないかということも含めて、今、日本文教出版という意見が出てまいりました。その他いかがでございますでしょうか。2社でよろしいですか。これ以外に何か意見ございますでしょうか。はい、どうぞ。

#### ○山西委員

私もこの3社それぞれすばらしい。特にこういう教科書っていいなと、改めてなかなかこういう作品に、日々の生活の中で触れることがない中で、改めてこういう作品に触れさせてもらえる教科書って、魅力的だなと考えましたが、あえて3社をいくつかの單元ごとに比較してみたんですが、それを比較してみると、私の印象としては、先ほどの竹村委員がおっしゃった日本文教出版の記載方法が私としては一番、特に先ほど工夫であるとか振り返りという記載の仕方もなかなか魅力的ですし、特に表現していく方法のプロセスがかなり具体的に書かれている。だから子供たちも、ただ作品を見るのではなくて、その作品を表現していくときに、あ、そうか、こういうプロセスを経由していくと、こういう作品になっていく。それが少しイメージしやすいような工夫があるなと改めて感じたものですから、私はあえて出すならば日本文教出版がいいのではないかなと感じました。以上です。

#### ○村松委員長

はい、ありがとうございます。今、山西委員がお話ししたことについて、何かございますでしょうか。はい、どうぞ。

#### ○桑原委員

いろいろな考え方があると思うんですが、私の中で今、竹村委員、山西委員の御意見、ちょっと違った意見を持っているので、ちょっと補足だけさせていただくと、いわゆる図画工作というのは、創造力の教科であるし、その創造力というのは芸術だけじゃなくて、人生のビジョンを描くとかといったところでは、お手本のないところでオリジナルなものを描いていくという入り口だというふうにとらえています。ですので、私は先ほども御説明したように、インスピレーションを得て、あとは自分の中で作り上げていくという意味では、もち

ろんプロセスを知ることはきっかけになると思うんですが、あまり丁寧な、失敗のないような組み立て、ハウツーがあまりない。試行錯誤しながら自分なりに画材やそういったものを取り組んでいくということも大切なんじゃないかというちょっと意見を持っていますので、あえて最初にお話ししたようなインスピレーションや自分の創造力をかきたてるものに重点を置きたいなというところでは、やはり東京書籍でというふうな意見を持っております。

#### ○村松委員長

はい、ありがとうございます。意見が分かれましたが、今出てまいりました3誌の中で、東京書籍と日本文教出版、この2に絞り込まれておりますけれど、この2社で諮りたいと思います。

それでは、東京書籍を採択するというお考えの方は挙手をお願いいたします。

( 挙 手 少 数 )

はい、ありがとうございました。

日本文教出版を採択するのがよいとお考えの方は挙手をお願いいたします。

( 挙 手 多 数 )

はい。それでは、1対3ということで、「図画工作」につきましては日本文教出版を採択するということに決定いたします。ありがとうございました。

それでは、小学校「家庭」に移ります。何か御意見ございますでしょうか。はい、どうぞ。

#### ○竹村委員

家庭については、編成本が2社しかありませんので、比べてみた結果、私なりの意見を述べさせていただきます。2社とも書いてあることにあまり差はない。内容の組み立ても非常に差がないという点から、組み立てという点について特に着目をして調査をしました。私が感じたことは、東京書籍のほうを組み立てという点についてはスムーズな感じがします。例えば家庭の中での自分の役割について、まず家庭の中で自分の存在というものを意識させて、具体的な内容に入っていくという構成になっているようなんですが、何のために家庭の中で自分が役割を果たしていくかというところは、とても大事なところですが、今、なかなか家庭の中ではそういったことが教えにくくなっている現状があるのではないかというふうに考えます。そんな意味でも、こちらの東京書籍の組み立てのほうが、今の児童の学習には適しているのではないかなというふうに考えます。

もう一つ、巻頭の見開き、目次をガイダンスといいますか、活用しやすいように工夫されている。2年間、学習内容が見通せるような内容になっております。工夫をされています。

それから実習の手順はイラスト入りでわかりやすく説明されていると思いますし、安全であるとか環境であるとか消費者、情報といったものについて、そういった観点についてはマークを使って児童が興味・関心を持って取り組めるように配慮されているというふうに考えます。現在の使用されている教科書も東京書籍ということで、現場の先生方も使いやすいというふうに判断されるということではないかと思います。私としては、以上の理由から東京書籍を採択するのがよいと考えます。以上です。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。その他、何か意見ございますでしょうか。

○青池教育長

開隆堂の調査研究の評価は、決して低くありません。ただ、実習の手順を見開きにページを活用してわかりやすく示していたり、5年生では生活できることをふやしていこうとか、6年生では工夫して生活に生かそうというテーマ設定をしております。題材を配列している点は、すごくよかったなと思っております。ただ、2社を比較すると、題材数を絞り込んで、大きな写真を使ったり、全体にゆとりをもった構成にしたりしている点で、やはり東京書籍のほうがいいかなと、そんな感じを受けました。私としては東京書籍という形で採択するのがいいと思っております。

○村松委員長

はい、ありがとうございました。今、教育長からもお話しあり、先ほど竹村委員からもありました。東京書籍はタイトルとしては「新しい家庭」というタイトル、開隆堂のほうは「私たちの家庭科」ということで、半数というんですか、先ほど竹村委員から話ありまして、東京書籍はまず家庭から入って、家庭の中のそれぞれの役割というところが入って、そういったところが今の時代の中では家庭の一員として役割をきちっと担っていくということが必要ではないかというような意見も出されております。今お二方から東京書籍がよいというお話がございましたが、その他ございますでしょうか。

よろしゅうございますか。それでは「家庭」につきましては東京書籍でお諮りしたいと思います。小学校「家庭」について、東京書籍を採択するということでよろしゅうございますか。挙手をお願いいたします。

( 挙 手 全 員 )

はい、ありがとうございました。それでは、全員一致で「家庭」につきましては東京書籍に決定いたします。

次に、最後ですが、小学校「保健」に移ります。何か御意見はございますでしょうか。

#### ○竹村委員

まず、検定本5社のうち各学校からの調査研究の評価が高かった上位2社、光文書院と学習研究社、この2社で私は考えてみました。まず、5、6年で扱っている病気の予防という単元のところで、新型インフルエンザやノロウイルス、O-157という今日的な健康課題についてですが、丁寧に触れているのが学習研究社でした。光文書院については、熱中症やAEDについて触れていない。熱中症については、今年も新聞、ニュースでいろいろと報道されているように、今日的な課題、まさに今、非常に深刻な問題となっています。そういった予防の点から見ても非常に重要だと考えますし、AEDについても各所に配置されている現状を見ますと、そういった学習を深めていくことは非常に大切なことだというふうに考えます。もう一つ、3、4年のところですが、単元の第二次性徴の体の変化というところですが、光文書院は水着の写真と裸のイラストですね、を用いて比較的私はリアルに説明しているというふうに感じました。それに対して学習研究社では、体操服姿のイラストで説明している。それが一人の子供の成長という意味でもよくあらわされているというふうに考えます。

同時にですね、家族や先生の体験談から、体の変化の起こり方は一人ひとり違うという部分について、より丁寧に説明をしているというふうに私は感じました。そういった表現の違いの丁寧さが、この2社についてちょっと違うところかなと思います。家族や先生といった身近な大人を意識するような設定になっている点が、自分がこれから大人になっていくことを考える上では、よいものになるのではないかなと。そういった理由から、私は学習研究社を採択するのがよいと考えます。以上です。

#### ○村松委員長

はい、ありがとうございました。学習研究社を採択すると。ちなみに5社のうち2市1町あるいは逗子市の調査の中では、この光文書院と学習研究社というのが圧倒的に支持があって、この2社で絞り込んで教育委員会としてもかなり突っ込んで意見を交わしてまいりました。そのほか何か意見ございますでしょうか。はい、どうぞ。

#### ○桑原委員

確かに2社の評価もあったんですが、全体を通すと東京書籍や大日本図書もこの保健という広い範囲を網羅するには工夫されているなというふうに拝見しましたし、そこを評価している学校もあったなというふうに感じています。東京書籍は児童が記述する欄が多くて、自

分でそれを学んだことを振り返ったり、自分で書くこともできますし、新学習指導要領で新たに加わった防犯の内容もきちっと入れているなどというところは評価できるなどというふうに思いました。

あとは、大日本のほうは各単元導入で、何かゲームのような、そういった提示されていて、子供がうまく入っていきけるような、そういう工夫もされているなどというふうに感じました。

一番健康に興味を持って、身近な自分のところから社会に意識を持っていったりという段階になっていくと思うんですが、最終的には私も竹村委員と同じ意見で、学研が総合的なバランスを含めていいかなというふうに思ってます。実験ですとか調査結果なんかも入ってますので、いろいろなとらえ方をするというところも押さえられていますし、自主的に学習に取り込めるようなシートも入っているので、そういう課題を持って取り組んでいくということも考えられているかなと。あと、先ほどの第二次性徴のところでも、保健というとらえ方では学研のような展開が適しているんじゃないかなというふうに思いましたので、私も学習研究社というふうに思ってます。

#### ○村松委員長

はい、ありがとうございます。いずれにしても5社の中で今、東京書籍、大日本図書の意見も出ましたけれど、最終的には光文書院と学研ということにかなり浸透してまいりましたけれど、そのほか意見ございますでしょうか。

よろしゅうございますか。今お二方から学習研究社ということの意見が出ましたけれど、これで採択するというので挙手をお願いしたいというふうに思います。小学校「保健」につきましては、学習研究社を採択するというのでよろしゅうございますでしょうか。挙手をお願いいたします。

( 挙 手 全 員 )

はい、ありがとうございます。それでは全員一致で「保健」につきましては学習研究社で決定をいたします。

これで11種目終わりましたけれど、もう一回確認をしたいというふうに思います。国語は光村図書、書写は光村図書、社会は光村図書、地図は帝国書院、算数は東京書籍、理科は大日本図書、生活は教育出版、音楽は教育出版、図画工作は日本文教出版、家庭は東京書籍、保健は学習研究社、これでよろしゅうございますですね。はい、ありがとうございます。いろいろと長い間、1カ月以上にわたって教科書を研究していただきまして、いろいろありがとうございました。この暑い夏の中でこれだけ勉強するというのは大変だったと思います。



どうも御苦労さまでした。

ただ、一つ事務局にお尋ねいたします。小学校から特別支援学級に学ぶ児童の使用する教科用図書のうち、検定教科用図書以外に一般図書の使用の希望はありましたでしょうか。

**○奥村学校教育課長**

逗子市立小学校5校から、学校教育法附則9条に係ります一般図書の願い出、希望はございません。

**○村松委員長**

はい、ありがとうございます。それでは、以上で小学校の教科用図書の採択を終わりといたします。

続いて中学校使用教科用図書の採択に入りますが、来年度は新学習指導要領の完全実施に向けて新たな検定教科用図書が採択することになります。基本的には継続採択するという方向でよろしゅうございますでしょうか。

( 全員異議なし )

よろしいですか。今まで1教科1教科採択いたしましたけれど、特に大きな問題も出されておられません。そして、いわゆる新しい参入する教科書の社もございません。そういった意味で、2つの採択ということに先ほど話ございましたけれど、それでよろしゅうございますか。じゃあ、教育長、よろしく願いいたします。

**○青池教育長**

今、委員長が言った意見でいいんですけども、中学校の使用教科書につきましては、本年度まで使用している教科用図書について、特に各学校から問題指摘もありませんでした。そういう意味で、全種目につきまして一括採択ということでもよろしいかと思えます。

**○村松委員長**

はい、ありがとうございます。今、教育長のほうからも話ございましたように、中学校用教科書については、一括で継続の採決をしていきたいということにしたいと思いますが、異議はございますでしょうか。

( 「異議なし」 の声多数 )

よろしゅうございますか。それではお諮りいたします。中学校使用教科用図書につきまして、本年度まで使用している教科用図書全種目を採択する、継続採択するという方向でよろしいか、御賛同の場合は挙手をお願いいたします。

( 挙 手 全 員 )

はい、ありがとうございました。それでは、全員一致で中学校につきましては現在使用の教科用図書を継続採択することに決定いたします。

それでは、先ほどと同じように、事務局にお尋ねします。中学校から特別支援学級に学ぶ生徒の使用する教科用図書のうち、検定教科用図書以外に一般図書の使用の希望はございましたでしょうか。

**○奥村学校教育課長**

小学校同様でございますが、逗子市立中学校3校から学校教育法附則9条に係る一般図書の願い出はございません。

**○村松委員長**

また、もしこういった希望があれば、特別支援学級の教材費で購入していくということになるだろうというふうに思いますが、今の中では使用の希望はないということでございます。はい、ありがとうございました。以上で中学校の教科用図書の採択を終わります。

それでは、以上をもちまして議案第13号教科用図書の採択につきまして審議を終了いたします。いろいろ長時間審議をしていただきました。まことにありがとうございます。

これで終わりいたします。どうも御苦労さまでした。